

## 船舶事故調査報告書

平成25年2月21日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）  
委員 庄 司 邦 昭  
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成24年9月27日 05時00分ごろ～13時50分ごろの間）
発生場所	不明（三重県桑名市大島漁港～桑名市所在の揖斐川口灯台から真方位335°800m付近の間）
事故調査の経過	平成24年9月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第二清福丸、0.6トン ME3-62350（漁船登録番号）、個人所有 6.75m(Lr)×1.48m×0.62m、FRP ガソリン機関、30kW（動力漁船登録票による）、昭和58年11月
乗組員等に関する情報	船長 男性 74歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和49年9月6日 免許証交付日 平成20年8月11日 (平成25年10月4日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、かに刺し網漁のため、平成24年9月27日05時00分ごろ大島漁港を出港し、揖斐川河口付近の漁場に向かった。 船長の親族は、本船が帰港しないことを心配して僚船に乗って捜索したところ、13時50分ごろ、揖斐川河口付近において、漂流している本船を発見した。 船長は、船縁につかまり、海面にうつ伏せの状態で見つかり、大島漁港に搬送されたが、死亡が確認された。 船長の死因は、溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏

<p>その他の事項</p>	<p>本船は、船外機が水面上に上げられ、プロペラに網が絡まった状態であった。 船長は、救命胴衣を着用していなかった。</p>
<p><b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明 船長は、溺死した。 本船は、05時00分ごろ揖斐川河口付近の漁場に向けて大島漁港を出港したのち、13時50分ごろ、揖斐川河口付近において、船長が、本船につかまり、海面にうつ伏せの状態で見えているところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられる。 本船は、発見時、水面上に上がった船外機のプロペラに網が絡まっていたことから、船長が網を外そうとして落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。 船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、本船が大島漁港を出港後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・救命胴衣を着用すること。</p>